

私たちは、岡山県北で元気を創造している人を応援しています。

新庄村

村長 小倉 博俊

× インタビュアー【シリウスグループ】

イコール株式会社 代表 池田 誠



奇跡の湯 奥津温泉ホテル

米屋倶楽部 奥津

TEL:0868-52-0016 <http://www.komeyaclub-okutsu.jp>



良い村を後世に残していく

幼少時代はどのように過ごされていたんですか？

中学までは新庄村で過ごしました。当時はスクールバスがなくて、6キロの通学路を歩いて通っていません。今のように舗装されていないデコボコの草道で、道中がとにかく長かったです。今も新庄村は雪が多いけれど、あの頃はもっと多くて豪雪地帯でしたから、小学校のそばに冬期宿舎があって、そこで冬の間は寄宿生活をするんですよ。その中で、いろいろな意味の社会勉強をさせてもらいました。おねしょもそこで治りましたね。当時は電気ストーブなんてなくて炭火のこたつだったんです。おねしょをするとアンモニア臭が激しくなって絶対気付かれるんです。すると先輩に布団をはがされて、罰として立たされたりするんです。

よ。自分じゃないと言いたいたんだけど、臭いで絶対バレしてしまうんですよ(笑)。

親元を離れての生活は良い経験だったと思います。小さいうちは先輩に教えられて、大きくなったら自分が小さい子に教えて……。ここでの生活がいろんな意味で自分の原点になってると思います。私は、苦しい時に思い出すのは、幼い頃、吹雪で立ち往生してうずくまった日の事です。苦しくても冬の次には春が来るという気持ちになれます。

高校や大学ではどのように過ごされましたか？

高校は作陽高校へ行って、寮生活をしていました。寄宿舎生活をしていたおかげか、自然と寮長を任せられましたね。朝の点呼から喧嘩の仲裁まで、いろいろな経験させてもらいましたよ。大学は九州の福岡大学へ進学しました。喋る事が嫌いではなかったなので、将来アナウンサーか声優を夢見て、放送研究部はないかとオリエンテーションで探していたんです。放送研究部へ行くまでに書道部の前で女性がたくさん勧誘しているんですよ。呼び止められてついつい書道部に入ってしまった(笑)。書道部で最終的には幹事までしましたよ。弁論大会に出て入賞したり、クラブ活動を通してリーダーシップなど



大学時代のあだ名は
「村長」だったんですよ 笑

<p>新庄村 村長 小倉 博俊</p> <p>プロフィール 1953年生まれ。新庄村出身。福岡大学卒業後、衆院議員秘書を務め、42歳で新庄村村長に就任。 2014年の選挙で8年ぶりに村長へ振り返り咲き現在に至る。通算5期目。</p>	<p>イコール株式会社 代表 池田 誠</p> <p>プロフィール 勝山高校卒業後、大阪の旅行社へ就職。 数年後旅行社創業。…現在に至る。 奥津温泉や湯原温泉を中心に、ホテル旅館業、旅行業、旅館の再生事業をしている。</p>
---	---

いろいろ学びました。

政治に興味を持ったきっかけ

は何だったんですか？

元衆議院議員の山崎拓氏が福岡で県会議員をしている時に、私が弁論大会で入賞したのをどなたから聞いて、選挙の時に手伝ってくれないかと誘いを受けたんです。今みたいにマイク設備が良くなかったから、連呼したり呼び込み、私の大きな声が役立ったんですよ。その後も選挙の度に手伝いに呼ばれました。村出身だったからか、みんなから「村長」と呼ばれていましたね。将来は村長になれるよなんて言われながら卒業したのを思い出します。

大学卒業後はどうされた

んですか？

大阪の一般企業に内定をもらってました。研修を受けて終る頃、岡山市の議員さんから選挙の応援を手伝って欲しいという話しがきかれました。統一地方選挙の年でした。親には大阪で会社に勤めていると言っていたので、研修が終ってから内緒で手伝いに行きました。手伝いをしているうちに、この仕事に向いているとか、多分おだてられたんでしょう。政治そのものも良く分かっているのに、政治の勉強でもしてみるか、という気分になったんですよ。県北出身だから地元がいいだろうと、勝山

の元県議員の宮島事務所を紹介してもらいました。新庄村とは目と鼻の先だったのに親には内緒にしたままでしたね。

その後紹介されたのが、元衆議院議員の大村襄治先生でした。

当時の勝山町長の推薦状と宮島先生が保証人になるという二つの手紙だけを持って上京して議員会館を訪ねました。

それがスタートですね。田中角栄氏が総理になる時に「秘書軍団」という言葉がうまれたんですが、その中の独身秘書ばかり集めた「有志軍団」の初代会長になりました。大阪の企業で働いていると思っている親になかなか言えないまま時は過ぎ、大村先生の事務所へ新庄の人が来てばれたんです。

42 才まで秘書として働き、その後は新庄村の村長とし4期連続で務めさせて頂きました。

再度 村長選挙に出馬しようと思ったのはどうして？

16 年間村長をさせて頂いて、5期目の平成18年の選挙で12 票差で負けたんです。結局長くやっていること、つい有頂天になるといふか、図に乗るといふか、独善的ではないと自分では思っているんですが、結局どこかで調子にのっていったんですね。自分にとっていい試練を与えて頂いたと思っています。

8 年間は衆議院議員のあべ俊子先生の元で公設秘書として責任ある

仕事をさせて頂いてました。
そろそろ65才になるし
ゆっくりしようと思ってたん
ですが、新庄村長選挙を迎える中
で村民の方々から「ぜひ帰って再
度やってほしい」と言われました。
あべ事務所での8年間は修業に出
たと思い、人生最後のご奉公をさ
せて頂こうと思って決断しました。

これからの新庄村について

新庄村には合併を乗り越えて、
自主自立できた村民の誇りと伝統
があるんで、「村民一家族」で、
良い村を後世に残していく力があ
ります。私が出来る事は、新庄村
の社会資本をきちっと整備する事
眠っている資源を発掘して、活か
していく事が大切ですし、その一
つとして森林資源があげられるで
しょう。今は、毛無山ふもと一体
を森林セラピーとして活かしてい
く取り組みの準備している最中で
す。形に残るもので次世代に夢と
希望が与えられ、将来あの日とき
の村長がこうやってくれたから、
と言われるよう村民の気持ちを汲
んで誇れる良い村を残していきたい
と思っています。

